

(4)数量、図形などについての知識・理解

- ・三平方の定理やその逆を理解する。

5 指導計画(5時間計画)

学習内容	評価規準			
	関心・意欲・態度	見方や考え方	表現・処理	知識・理解
三平方の定理 (3時間)	直角三角形の3つの辺それぞれを1辺とする正方形の面積の間の関係に関心をもち、その関係をいろいろな直角三角形で調べようとする	いくつかの直角三角形について、辺の長さに着目して考察し、帰納的に三平方の定理を見いだすことができる。	三平方の定理を利用して、直角三角形の未知の長さを求めることができる。	三平方の定理を理解する。
三平方の定理の逆 (1時間)			三平方の定理の逆を使って、三角形が直角三角形であるかどうかを判断することができる。	三平方の定理の逆を理解する。
まとめ (1時間) (本時)			三平方の定理とその逆に関する問題を解くことができる。	

6 本時の指導

(1)本時について

本時は、練習問題を解くことにより、前時までの学習内容のより深い理解を図ることをねらっている。

グループは、主に図形領域を不得意だと感じているグループ(ベーシック)とそうでもないと感じているグループ(ステップ)に分け更に教師の指導により入れ替えを行った。「ベーシック」はチューターに入ってもらい2人体制で1人1人に目を届かせた指導を行っていく。

(2)本時の目標(評価規準と具体的評価規準)

学習目標における評価規準	具体的評価規準		Cへの支援方法	評価方法
	A 十分満足できる	B おおむね満足できる		
【表現・処理】 「三平方の定理」とその逆に関する問題を解くことができる。	「三平方の定理」を利用して確実に速く問題が解ける。 「三平方の定理の逆」を利用して確実に速く問題が解ける。	「三平方の定理」を利用して問題が解ける 「三平方の定理の逆」を利用して問題が解ける。	既習事項を再度確認し、難易度の低い問題から解かせる。 また、類似問題の数を多くこなさせる。	机間指導

(3)研究テーマとの関わり

(ア)基礎・基本の内容の厳選

基礎的・基本的内容を確認する問題と類似問題を用意した。

(イ)教材、展開の工夫

確認問題、類似問題、発展的問題、予習的問題を準備し個々の力量に合わせ進められるようにした。

(ウ)意欲を高める工夫

それぞれのコースは、教師の意図も盛り込んだ自己選択制にする。また、問題は、両コースの共通のものとする。

(エ)指導形態の工夫

前半を一齐指導で行い、問題解決の場面では習熟度別グループに分かれる。

(オ)定着を図るための工夫

グループに分かれた後、前段部分の基礎基本問題で定着の様子を評価する。「ベーシック」はチューターとのTTで行い、より個別的な学習ができるようにし、「ステップ」はより発展的な問題に取り組み更なる定着を図る。

(4) 本時の展開

段階	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価	準備
導入 15分	1. 既習事項の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・「三平方の定理」を確認する。 ・「三平方の定理」を利用して未知の長さを求める方法を確認する。 ・「三平方の定理の逆」を確認する。 ・三角形の3辺の長さから、直角三角形かどうか判断する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙板書を提示する。 ・直角三角形の斜辺を意識させる。 ・長さなので > 0 を明記する。 ・紙板書を提示する。 ・一番長い辺が斜辺の候補であることを確認する。 	紙板書 紙板書
	2. 学習課題の確認	学習課題を確認する		
	練習問題を解くことで理解を深めよう。			

<ベーシック：3 - B教室>

展開 32分	3. 基礎基本問題	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本を確認する問題に取り組む。 ・全体で確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導を通し個別指導に心がける。 ・発表させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">全問正解を具体の評価規準Bとする。(表・処)</div> <ul style="list-style-type: none"> ・Cの生徒への支援を個別指導で行う。(フューター) ・教師及びフューターによる机間指導を行う。 ・理解している生徒には、応用的な問題へも進ませる。 	プリント 補助問題
	4. 類似問題	<ul style="list-style-type: none"> ・類似問題を解き解き方になれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の頑張り进行评估する。 ・解いた問題数・発表・積極性 	
終結 3分	5. 本時のまとめ 6. 次時の予告	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめをする。 ・次時の予告を聞く。 		

<ステップ：学年教室>

展開 32分	3. 基礎基本問題	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本を確認する問題に取り組む。 ・全体で確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導を通し個別指導に心がける。 ・発表させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">全問正解を具体の評価規準Bとする。(表・処)</div> <ul style="list-style-type: none"> ・Cの生徒への支援を行う。 ・机間指導を行う。 ・問題数を多くこなすように指示する。 ・理解している生徒には、応用的な問題へも進ませる。 	プリント
	4. 類似問題・発展問題	<ul style="list-style-type: none"> ・類似問題及び発展問題を解き解き方になれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の頑張り进行评估する。 ・解いた問題数・発表・積極性 	
終結 3分	5. 予習問題 6. 本時のまとめ 7. 次時の予告	<ul style="list-style-type: none"> ・予習問題に取り組む。 ・本時のまとめをする。 ・次時の予告を聞く。 		